



RCR STD-5

# 構内無線局1,200MHz帯テレメータ用、 テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備

1,200MHz-BAND TELEMETER, TELECONTROL AND  
DATA TRANSMISSION RADIO EQUIPMENT  
FOR PREMISES RADIO STATION

## 標 準 規 格

ARIB STANDARD

### RCR STD-5 1.8版

平成元年	4月25日	策	定
平成4年	7月31日	1.	1改定
平成6年	2月28日	1.	2改定
平成9年	3月25日	1.	3改定
平成11年	2月2日	1.	4改定
平成12年	7月25日	1.	5改定
平成17年	11月30日	1.	6改定
平成18年	3月14日	1.	7改定
平成19年	9月26日	1.	8改定

社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses



## ま え が き

社団法人電波産業会は、無線機器製造者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な技術的条件を「標準規格」として策定している。

標準規格は、周波数の有効利用及び他の利用者との混信の回避を図る目的から定められる国の技術基準と、併せて無線設備の適正品質、互換性の確保等、無線機器製造者及び利用者の利便を図る目的から策定される民間の任意基準をとりまとめて策定される民間の規格である。

本標準規格は、「構内無線局 1,200MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備」について策定されたもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、利用者等利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により策定されたものである。

本標準規格が、無線機器製造者、利用者等に積極的に活用されることを希望する。



## 目 次

まえがき

第1章 一般事項	1
1.1 概要	1
1.2 適用範囲	1
1.3 準拠文書	1
第2章 標準システム	2
2.1 標準システムの構成	2
2.2 標準システムの運用形態	3
(1) 基本型 1:1	3
(2) 基本型 1:N	3
(3) 基本型 M:N	3
(4) エリア拡大型 1:1 及び 1:N	3
(5) エリア拡大型 M:N	3
第3章 無線設備の技術的条件	4
3.1 一般条件	4
(1) 通信方式	4
(2) 通信の内容	4
(3) 電波型式	4
(4) 使用周波数	4
(5) 周波数切替方式	6
(6) 使用環境条件	6
3.2 送信装置	6
(1) 空中線電力	6
(2) 空中線電力の許容偏差	6
(3) 発振方式	6
(4) 周波数の許容偏差	6
(5) 変調方式	6
(6) 変調速度	6
(7) 符号形式	6
(8) 隣接チャネル漏えい電力	6
(9) 占有周波数帯幅の許容値	7

## RCR STD-5

(10) スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値	7
(11) 送信立ち上がり時間及び立ち下がり時間	8
3.3 受信装置	8
(1) 符号基準感度	8
(2) 実効選択度におけるスプリアス・レスポンス	8
(3) 実効選択度における隣接チャンネル選択度	8
(4) 局部発振器の周波数変動	8
(5) 副次的に発する電波等の限度	8
3.4 制御装置	8
(1) 送信装置識別装置	9
(2) 送信時間制限装置	9
(3) キャリアセンス	10
(4) 回線接続手順	10
3.5 空中線	13
(1) 空中線の構造	13
(2) 空中線の利得	13
(3) 空中線の使用区分	13
3.6 その他	13
(1) 筐体	13
(2) 技術基準適合証明に係る表示	13
(3) 附属装置とのインタフェース	13
第4章 測定法	14
参 考 特定無線設備の技術基準適合証明に係る試験項目	15
参 考 1,200MHz 帯を利用する場合の注意事項	16

改定履歴表